

# 追加機能について

---

ユーザーズガイド

# もくじ

本書について ..... もくじ-2

## 1 いろいろな追加機能

1.1	macOS 10.13 用プリンタードライバーについて .....	1-2
1.2	初期値の変更について .....	1-2
1.3	Web ブラウザー機能について .....	1-3
1.3.1	Web ブラウザーの仕様 .....	1-3
1.3.2	Web ブラウザー機能でできなくなったこと.....	1-3
1.4	キーボードを選択する .....	1-3
1.5	ボックス文書のダウンロード時間を短縮する .....	1-4
1.6	共有ボックスの SMB フォルダー内文書を削除する .....	1-4
1.7	機能キーのスクロールを循環させる.....	1-4

## 2 複数のネットワークに接続する

2.1	複数ネットワークへの接続について.....	2-2
2.2	ネットワーク 2 での制限事項について .....	2-3
2.2.1	利用できない設定 .....	2-3
2.2.2	サポートしていない機能 .....	2-6
2.3	複数ネットワークへの接続の設定をする（管理者向け） .....	2-7
2.3.1	複数ネットワークへの接続を有効にする .....	2-7
2.3.2	ネットワーク別に管理者設定を行う.....	2-7
2.3.3	ネットワーク選択画面の設定をする.....	2-7
2.4	二要素認証の設定をする（管理者向け）.....	2-8
2.4.1	二要素認証について .....	2-8
2.4.2	IC カード認証で二要素認証を行うための設定をする .....	2-8
2.4.3	LDAP-IC カード認証で二要素認証を行うための設定をする.....	2-8
2.4.4	生体認証で二要素認証を行うための設定をする .....	2-9
2.4.5	ユーザーの PIN コードを設定する.....	2-9
2.5	ネットワークを選択してログインする.....	2-10
2.6	PIN コードを変更する .....	2-10

## 3 ユーザーズガイドの記載訂正／変更について

3.1	〔操作パネルについて〕での訂正 .....	3-2
3.2	〔プリント〕での訂正 .....	3-2
3.3	NFC 認証導入時の制約事項 .....	3-2
3.4	ライセンス文について .....	3-2



---

## 本書について

本書は、新たに追加または変更された本機の機能について記載しています。

---

# 1

## いろいろな追加機能

# 1 いろいろな追加機能

## 1.1 macOS 10.13 用プリンタードライバーについて

macOS 10.13 のプリンタードライバーのインストール方法、印刷機能、印刷のしかたについては、macOS 10.12 と同等です。ユーザーズガイドの macOS 10.12 の記載を参考にご利用ください。

## 1.2 初期値の変更について

新たな機能が追加された本機では、初期値が変更になった設定があります。

初期値が変更になった具体的な設定については、以下のとおりです。

設定	説明
Web Connection の管理者モードの [ネットワーク] - [SMB 設定] - [クライアント設定] - [SMB 認証設定]	初期値が [NTML v1/v2] に変更になりました（ただし、ファームウェア更新で新機能に対応している場合は、初期値は [NTML v1] です）。
操作パネルの [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [SMB 設定] - [クライアント設定] - [SMB 認証設定]	
Web Connection の管理者モードの [セキュリティー] - [PKI 設定] - [SSL 使用設定] - [SSL/TLS バージョン設定]	[TLSv1.0] の初期値が OFF に変更になりました（ただし、ファームウェア更新で新機能に対応している場合は、初期値は ON です）。
Web Connection の管理者モードの [環境設定] - [Web ブラウザー設定] - [詳細設定] - [セキュリティー設定] - [使用する SSL バージョン]	[TLS1.0] の初期値が [無効] に変更になりました（ただし、ファームウェア更新で新機能に対応している場合は、初期値は [有効] です）。
操作パネルで Web ブラウザーを起動 - [メニュー] - [設定] - [セキュリティー設定] - [使用する SSL バージョン]	セキュリティーレベルの [最低] の初期値が [TLS1.1] に変更になりました（ただし、ファームウェア更新で新機能に対応している場合は、初期値は [TLS1.0] です）。

## 1.3 Web ブラウザー機能について

### 1.3.1 Web ブラウザーの仕様

本機で使用する Web ブラウザーの仕様が変更になりました。

主な仕様は、以下のとおりです。

項目	仕様
ブラウザーエンジン	blink
プロトコル	HTTP(HTTP/1.1)、HTTPS、TCP/IP、WebSocket
マークアップ言語	HTML 4.01、HTML 5、XHTML 1.1/Basic
スタイルシート	CSS3.0
スクリプト言語	JavaScript 1.7、ECMAScript Edition 3/5/5.1、Ajax(JavaScript のサポート内に限る)
DOM	Level 2、Level 3
ファイル形式	JPEG、BMP、PNG、GIF、アニメーション GIF、PDF
SSL/TLS バージョン	SSL 3.0、TLS 1.0/1.1/1.2
文字コード	日本語 (Shift_JIS)、日本語 (ISO-2022-JP)、日本語 (EUC-JP)、簡体字中国語 (GB18030-0)、繁体字中国語 (Big5)、西ヨーロッパ言語 (Windows-1252)、Unicode(UTF-8)
PDF 閲覧ソフトウェア	PDFium

### 1.3.2 Web ブラウザー機能でできなくなったこと

本機で使用する Web ブラウザーの仕様が変更になったことで、自分専用の Web ブラウザー設定 (My パネル) を使えなくなりました。

## 1.4 キーボードを選択する

タッチパネルに表示するキーボードの種類を選びます。

キーボードの選択は、操作パネルの [設定メニュー] - [ユーザー設定] - [環境設定] - [キーボード選択] で行います。

設定	説明
[キーボード初期設定]	タッチパネルで使用するキーボードの種類を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [標準キーボード]：US ASCII 配列キーボードまたは JIS 配列キーボードを表示します。</li> <li>・ [各国キーボード]：各言語に対応したキーボードを表示します。初期値は [標準キーボード] です。</li> </ul>
[キーボードタイプ]	タッチパネルの Web ブラウザーで使用するキーボードを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [タイプ 1]：タッチパネルで使用するキーボードを表示します。</li> <li>・ [タイプ 2]：ポップアップ形式のキーボードを表示します。初期値は [タイプ 2] です。</li> </ul>

### 参考

- [キーボードタイプ] の [タイプ 2] のキーボードでは、日本語をローマ字で入力します。

## 1.5 ボックス文書のダウンロード時間を短縮する

Web Connection でボックス文書をダウンロードする時間を、短縮するための設定をします。

ボックス文書のダウンロード時間短縮の設定は、Web Connection の [ボックス] - [ボックス一覧] - [新規登録] - [ボックス拡張機能] で行います。

既存のボックスに対して設定する場合は、[ボックス] - [ボックス一覧] - [編集] - [ボックス拡張機能を変更する] で行います。

設定	説明
[ダウンロード時間優先設定]	ボックス文書のダウンロード時間短縮のための処理を有効にするかどうかを選びます。 初期値は [使用しない] です。



### 参考

- ボックス文書のダウンロード時間短縮の設定は、操作パネルの [設定メニュー] - [宛先 / ボックス登録] - [ボックス登録] - [共有 / 個人ボックス] で、ボックスを登録または編集するときに行うこともできます。
- 以下の種類の文書は、この設定の対象になりません。  
コンピューターの印刷機能によりボックス保存された文書  
外部メモリーからボックス保存された文書  
F コード機能の使用によりボックス保存された文書

## 1.6 共有ボックスの SMB フォルダー内文書を削除する

SMB ファイル共有機能を使っている場合に、共有ボックスを介して SMB フォルダーに保存したファイルを一括で削除します。

削除を行うには、Web Connection の管理者モードの [環境設定] - [ボックス設定] - [ダウンロードファイル削除] で、[OK] をクリックします。



### 参考

- 共有ボックスの SMB フォルダー内文書の削除は、操作パネルの [設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [ボックス設定] - [SMB フォルダー内全文書削除] で行うこともできます。
- 共有ボックスの SMB フォルダー内文書を自動的に削除するには、Web Connection の管理者モードの [環境設定] - [ボックス設定] - [SMB フォルダー内文書削除時間設定] で設定します。
- ボックス文書のダウンロード時間短縮機能を有効にしている場合は、共有ボックスの SMB フォルダー内文書の削除を行うと、ダウンロード時間短縮用のファイルも同時に削除されます。

## 1.7 機能キーのスクロールを循環させる

各モードの機能キーの列をスクロールするときに、キーの並び順を循環させることができます。

機能キーの循環スクロールの設定は、Web Connection の管理者モードの [環境設定] で行います。

設定	説明
[機能キーループ設定]	機能キーの循環スクロールを有効にするかどうかを選びます。 有効にした場合、機能キーの列をスクロールして端まで達したときに、さらに同じ方向にスクロールすると、もう一方の端のキーから続けて表示されます。また、並び順を示す番号が機能キーに表示されます。 初期値は [有効] です。



### 参考

- 機能キーの循環スクロールの設定は、操作パネルの [設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [画面カスタマイズ設定] - [機能キーループ設定] で行うこともできます。
- この機能は、タッチパネルが 7 インチの機種でのみ使えます。

---

# 2

## 複数のネットワークに接続する



## 2 複数のネットワークに接続する

### 2.1 複数ネットワークへの接続について

VLAN (Virtual LAN) は、物理的に単一のネットワークを論理的に複数のネットワークに分割する技術です。本機の有線ネットワークインターフェースを VLAN で分割することにより、複数のネットワークへ接続することができます。

本機が接続できるネットワークの種類は、以下のとおりです。

ネットワーク名	説明
ネットワーク 1	通常のイントラネットワークです。
ネットワーク 2	特定システム用のネットワークです。このネットワークでは、本機の一部の機能が制限されます。制限される機能について詳しくは、2-3 ページをごらんください。



#### 参考

- この機能を使うには、お使いのネットワーク環境に VLAN が構築されている必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者にご確認ください。また、機種によってはオプションの装着も必要です。お使いの機種に必要なオプションが装着されているかどうかは、サービス実施店にお問い合わせください。

## 2.2 ネットワーク 2 での制限事項について

### 2.2.1 利用できない設定

複数ネットワークへの接続機能を使って、本機をネットワーク 2 に接続したときは、以下の設定を利用できません（ここでは、操作パネルからの設定を例に説明しています）。

- [設定メニュー] - [宛先 / ボックス登録] の以下の設定
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [E-mail 送信] - [新規登録] / [編集] / [削除]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [ボックス保存]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [ファクス送信]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [ファイル送信 (SMB)] - [新規登録] / [編集] / [削除]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [ファイル送信 (FTP)]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [ファイル送信 (WebDAV)]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [IP アドレスファクス送信]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [インターネットファクス送信]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [グループ宛先] - [新規登録] / [編集] / [削除]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [E-mail 設定] - [件名] - [新規登録] / [編集] / [削除]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [E-mail 設定] - [本文] - [新規登録] / [編集] / [削除]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [着信拒否宛先]
  - [ボックス登録]
- [設定メニュー] - [ユーザー設定] の以下の設定
  - [環境設定] - [出力設定] - [受信印刷出力設定] - [ファクス]
  - [環境設定] - [出力設定] - [排紙トレイ設定] - [ファクス]
  - [環境設定] - [Remote Access 設定] ([Remote Access 設定] の項目名は、機種によって異なる場合があります。さらに、この設定は機種によって利用できない場合があります)
  - [画面カスタマイズ設定] - [ファクス設定]
  - [画面カスタマイズ設定] - [機能キー設定 (ファクス送信)]
  - [画面カスタマイズ設定] - [ファクス動作中画面]
  - [画面カスタマイズ設定] - [検索オプション設定] - [検索項目設定] - [ファクス機能]
  - [ファクス / スキャン設定] - [TWAIN 操作ロック時間]
  - [ファクス / スキャン設定] - [Distributed Scan PDF 設定]
  - [ファクス / スキャン設定] - [Distributed Scan XPS 設定]
  - [ファクス設定]
- [設定メニュー] - [ユーザー設定] - [ユーザー認証 / 部門認証の連動]
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] の以下の設定
  - [出力設定] - [受信印刷出力設定] - [ファクス]
  - [出力設定] - [排紙トレイ設定] - [ファクス]
  - [ユーザー操作禁止設定] - [変更禁止設定] - [登録宛先変更]
  - [ユーザー操作禁止設定] - [変更禁止設定] - [登録オーバーレイ変更]
  - [ユーザー操作禁止設定] - [変更禁止設定] - [ユーザー認証 / 部門認証の連動]
  - [リセット設定] - [オートリセット] - [ファクス]
  - [リセット設定] - [オートリセット] - [Web ブラウザー]
  - [ボックス設定] - [不要ボックス削除]
  - [ボックス設定] - [文書保持設定]
  - [ボックス設定] - [外部メモリー機能設定] - [外部メモリー文書読み込み]
  - [ボックス設定] - [ボックスの操作権限]
  - [ボックス設定] - [文書削除時間設定]
  - [ボックス設定] - [SMB フォルダ内文書削除時間設定]
  - [ボックス設定] - [SMB フォルダ内全文書削除]
  - [URL 文書管理設定]
  - [スタンプ設定] - [ファクス送信設定]
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [宛先 / ボックス登録] の以下の設定
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [ボックス保存]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [ファクス送信]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [ファイル送信 (FTP)]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [ファイル送信 (WebDAV)]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [IP アドレスファクス送信]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [インターネットファクス送信]
  - [ファクス / スキャン宛先登録] - [着信拒否宛先]
  - [ボックス登録]
  - [最大ボックス数設定]

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザー認証 / 部門管理] の以下の設定
  - [認証方式] - [部門管理]
  - [認証方式] - [部門管理認証方式]
  - [認証方式] - [ユーザー認証 / 部門認証の連動]
  - [認証方式] - [カウンター割当て数]
  - [認証方式] - [LDAP-IC カード認証設定] - [新規登録] (または [編集]) - [第 1 サーバー登録] - [証明書検証強度設定] - [失効確認]
  - [認証方式] - [NFC 使用設定] ([NFC 使用設定] は、機種によって利用できない場合があります)
  - [認証方式] - [Bluetooth LE 使用設定] ([Bluetooth LE 使用設定] は、機種によって利用できない場合があります)
  - [ユーザー認証設定] - [管理設定] - [初期機能制限設定] - [ファクス操作]
  - [ユーザー認証設定] - [管理設定] - [初期機能制限設定] - [外部メモリー文書読み込み]
  - [ユーザー認証設定] - [管理設定] - [初期機能制限設定] - [手動宛先入力]
  - [ユーザー認証設定] - [管理設定] - [初期機能制限設定] - [Web ブラウザー]
  - [ユーザー認証設定] - [管理設定] - [Web ブラウザー初期設定]
  - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] - [編集] - [機能制限 / 権限] - [機能制限] - [ファクス操作]
  - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] - [編集] - [機能制限 / 権限] - [機能制限] - [外部メモリー文書読み込み]
  - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] - [編集] - [機能制限 / 権限] - [機能制限] - [手動宛先入力]
  - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] - [編集] - [機能制限 / 権限] - [機能制限] - [Web ブラウザー]
  - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] - [編集] - [機能制限 / 権限] - [権限設定] - [ボックス管理者権限]
  - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] - [編集] - [部門認証の連動]
  - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] - [編集] - [所属部門]
  - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] - [Public] - [編集] - [機能制限] - [ファクス操作]
  - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] - [Public] - [編集] - [機能制限] - [蓄積文書操作]
  - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] - [Public] - [編集] - [機能制限] - [外部メモリー文書読み込み]
  - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] - [Public] - [編集] - [機能制限] - [手動宛先入力]
  - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] - [Public] - [編集] - [機能制限] - [Web ブラウザー]
  - [部門管理設定]
  - [認証指定なし印刷] - [IP 許可設定]
  - [参照許可設定]
  - [URL 宛先有効設定]
  - [簡易認証設定] - [認証サーバー登録] - [新規登録] (または [編集]) - [第 1 サーバー登録] - [サーバーアドレス] - [IPv6 アドレス入力]
  - [簡易認証設定] - [認証サーバー登録] - [新規登録] (または [編集]) - [第 1 サーバー登録] - [証明書検証強度設定] - [失効確認]
  - [拡張サーバーダウン時の上限]
  - [AD 認証時自己検証設定]
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] の以下の設定
  - [TCP/IP 設定] - [IPv4 設定] - [IP 確定方法] - [自動取得] - [BOOTP 設定]
  - [TCP/IP 設定] - [IPv4 設定] - [IP 確定方法] - [自動取得] - [ARP/PING 設定]
  - [TCP/IP 設定] - [IPv6 設定]
  - [TCP/IP 設定] - [DNS ホスト] - [Dynamic DNS 設定]
  - [TCP/IP 設定] - [DNS ドメイン] - [検索ドメイン名自動取得]
  - [TCP/IP 設定] - [DNS サーバー設定 (IPv6)]
  - [TCP/IP 設定] - [IPsec 設定]
  - [TCP/IP 設定] - [フィルタリング設定]
  - [TCP/IP 設定] - [RAW ポート番号] - [ポート 2] ~ [ポート 6]
  - [TCP/IP 設定] - [LLMNR 設定]
  - [TCP/IP 設定] - [無線設定] (無線 LAN 接続キット装着時)
  - [http サーバー設定]
  - [FTP 設定]
  - [SMB 設定] - [クライアント設定] - [シングルサインオン設定] - [認証情報引用設定]
  - [SMB 設定] - [クライアント設定] - [シングルサインオン設定] - [認証情報登録可否]
  - [SMB 設定] - [SMB サーバー設定] - [SMB サーバー共通設定] - [SMB 認証プロトコル]
  - [SMB 設定] - [SMB サーバー設定] - [SMB サーバー共通設定] - [SMB 署名設定]
  - [SMB 設定] - [SMB プリント設定]
  - [SMB 設定] - [SMB ファイル共有設定]
  - [SMB 設定] - [WINS/NetBIOS 設定]
  - [LDAP 設定]

- [E-mail 設定] - [E-mail 送信 (SMTP)] - [E-mail 通知機能]
- [E-mail 設定] - [E-mail 送信 (SMTP)] - [トータルカウンター通知機能]
- [E-mail 設定] - [E-mail 送信 (SMTP)] - [サーバー負荷軽減送信方法] - [上限超過で URL 送信]
- [E-mail 設定] - [E-mail 送信 (SMTP)] - [サーバー負荷軽減送信方法] - [常に URL 送信]
- [E-mail 設定] - [E-mail 送信 (SMTP)] - [証明書検証強度設定] - [失効確認]
- [E-mail 設定] - [E-mail 送信 (SMTP)] - [詳細設定] - [POP before SMTP 認証]
- [E-mail 設定] - [E-mail 送信 (SMTP)] - [詳細設定] - [POP before SMTP 時間]
- [E-mail 設定] - [E-mail 受信 (POP)]
- [E-mail 設定] - [E-mail 受信プリント]
- [E-mail 設定] - [S/MIME 通信設定] - [S/MIME 情報の印刷]
- [E-mail 設定] - [S/MIME 通信設定] - [証明書の自動取得]
- [E-mail 設定] - [S/MIME 通信設定] - [証明書検証強度設定]
- [SNMP 設定] - [SNMP v3(IP)]
- [SNMP 設定] - [SNMP v1/v2c 設定] - [Write 設定]
- [SNMP 設定] - [SNMP v1/v2c 設定] - [Write Community Name 設定]
- [SNMP 設定] - [SNMP v3 設定]
- [Bonjour 設定]
- [TCP Socket 設定]
- [ネットワークファクス設定]
- [WebDAV 設定]
- [DPWS 設定]
- [Distributed Scan 設定]
- [BMLinkS 設定]
- [ThinPrint 設定]
- [SSDP 設定]
- [Mopria 設定]
- [詳細設定] - [デバイス設定] - [LLTD 設定]
- [詳細設定] - [時刻補正設定]
- [詳細設定] - [状態通知設定]
- [詳細設定] - [トータルカウンター通知設定]
- [詳細設定] - [SLP 設定]
- [詳細設定] - [アドレス入力付加設定]
- [IEEE802.1x 認証設定]
- [IEEE802.1x 設定]
- [Web ブラウザー設定]
- [シングルサインオン設定]
- [送信ドメイン制限設定]
- [ネットワーク I/F 構成]
- [無線ネットワーク設定]
- [IWS 設定]
- [リモートパネル設定]
- [本体更新設定]
- [Remote Access 設定] ([Remote Access 設定] の項目名は、機種によって異なる場合があります。さらに、この設定は機種によって利用できない場合があります)
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [クラウド連携]
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定]
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [システム連携] の以下の設定
  - [OpenAPI 設定] - [SSL/ポート設定] - [クライアント証明書]
  - [OpenAPI 設定] - [SSL/ポート設定] - [証明書検証強度設定]
  - [OpenAPI 設定] - [認証]
  - [OpenAPI 設定] - [外部アプリケーション連携]
  - [OpenAPI 設定] - [プロキシ設定]
  - [OpenAPI 設定] - [指定アプリ初期起動設定]
  - [Prefix/Suffix 自動設定]
  - [モバイル連携設定] ([モバイル連携設定] は、機種によって利用できない場合があります)
  - [ユビキタスプリント設定] ([ユビキタスプリント設定] は、機種によって利用できない場合があります)
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [セキュリティ設定] の以下の設定
  - [ボックス管理者設定]
  - [USB 接続許可設定] - [外部メモリー (ユーザー)] - [外部メモリー文書読み込み]
  - [USB 接続許可設定] - [詳細設定] - [PC 接続]
  - [セキュリティ詳細] - [手動宛先入力]
  - [セキュリティ詳細] - [FAX 送信禁止]
  - [セキュリティ詳細] - [個人情報保護設定] - [ジョブ履歴] - [認証部門]

- [セキュリティ詳細] - [個人情報保護設定] - [実行中ジョブ] - [認証部門]
- [セキュリティ詳細] - [Web ブラウザーコンテンツアクセス]
- [セキュリティ詳細] - [Web ブラウザー設定変更]
- [セキュリティ詳細] - [リモートサービス設定]
- [スタンプ設定] - [スタンプ付加設定] - [印字] - [付加する] - [登録オーバーレイ]
- [簡単セキュリティ設定] - [USB 使用設定] - [外部メモリー文書読み込み]
- [簡単セキュリティ設定] - [USB 使用設定] - [PC 印刷]
- [簡単セキュリティ設定] - [簡易 IP フィルタリング]
- [簡単セキュリティ設定] - [Web 設定] ([Web 設定] の項目名は、機種によって異なる場合があります)
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ライセンス管理設定] の以下の設定
- [有効機能一覧]
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [OpenAPI 認証管理設定]
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [遠隔診断設定]
- [設定メニュー] - [リモートパネル操作]

## 2.2.2 サポートしていない機能

複数ネットワークへの接続機能を使って、本機をネットワーク 2 に接続したときは、以下の機能を使えません。

- 以下の接続方法によるプリンタードライバーの手動インストール
- SMB、IPP/IPPS、Web サービス、USB
- 印刷に関する以下の機能
- 確認印刷
- ダイレクトプリント
- モバイル連携アプリケーションを使った印刷（モバイル連携アプリケーションは、機種によって使えない場合があります）
- イメージコントローラーによる高品質な印刷（イメージコントローラーは、一部の機種でのみ装着できます）
- My Print Manager を使ったサーバーへの印刷データスプール
- スキャンに関する以下の機能
- 直接入力による宛先の指定（管理者を除く）
- [応用設定] - [応用] - [URL 通知先設定] を利用したスキャン
- モバイル連携アプリケーションを使ったスキャン（モバイル連携アプリケーションは、機種によって使えない場合があります）
- 以下を除く、ボックスに関するすべての機能
- [セキュリティ文書]、[認証 & プリント]、[パスワード暗号化 PDF]、[外部メモリー]
- その他、以下の機能
- Web Connection からの各種設定（管理者モードを除く）
- Data Administrator からの各種設定
- 拡張サーバー認証
- AirPrint

## 2.3 複数ネットワークへの接続の設定をする（管理者向け）

### 2.3.1 複数ネットワークへの接続を有効にする

本機の有線ネットワークインターフェースに対して VLAN を設定にすることにより、複数のネットワークへ接続できるようになります。

VLAN の設定は、Web Connection の管理者モードの [ネットワーク] - [VLAN 設定] で行います。

設定	説明
[VLAN 設定]	有線ネットワークインターフェースで VLAN を有効にするかどうかを選びます。複数のネットワークへ接続する場合は、[有効] を選びます。初期値は [無効] です。
[VID1]	ネットワーク 1 に割り当てる VLAN ID を、1 ~ 4094 の範囲で入力します。
[VID2]	ネットワーク 2 に割り当てる VLAN ID を、1 ~ 4094 の範囲で入力します。


#### 参考

- VLAN の設定は、操作パネルの [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [VLAN 設定] で行うこともできます。

### 2.3.2 ネットワーク別に管理者設定を行う

本機を複数ネットワークに接続する場合、本機のネットワーク設定および認証設定はネットワーク別に行う必要があります。

設定を行う対象のネットワークを指定するには、以下の操作を行います。

- 1 ネットワーク 1 のコンピューターから Web Connection にアクセスして、管理者モードでログインします。
- 2  をクリックして、ネットワーク 1 またはネットワーク 2 を選びます。

#### 参考

- ネットワーク 2 のコンピューターから Web Connection にアクセスすることはできません。
- 操作パネルで設定を行う対象のネットワークを指定するには、[設定メニュー] - [管理者設定] でネットワーク 1 またはネットワーク 2 を選びます。

### 2.3.3 ネットワーク選択画面の設定をする

ユーザーがログインするときのネットワーク選択画面の設定ができます。

ネットワーク選択画面の設定は、Web Connection の管理者モードの [環境設定] - [ネットワーク選択設定] で行います。

設定	説明
[優先ログインネットワーク設定]	ネットワーク選択画面で初期選択するネットワークを選びます。[未選択] を選ぶと、どのネットワークも選択されていない状態で画面が表示されます。初期値は [未選択] です。
[ネットワーク名変更]	ネットワーク 1 とネットワーク 2 のそれぞれの表示名を入力します。

#### 参考

- ネットワーク選択画面の設定は、操作パネルの [設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [画面カスタマイズ設定] - [ネットワーク選択画面設定] で行うこともできます。

## 2.4 二要素認証の設定をする（管理者向け）

### 2.4.1 二要素認証について

二要素認証とは、ユーザーの「知っていること」、「所有しているもの」、「身体的特性」という3種類の情報のうち、異なる2種類の情報を組み合わせることで安全性を高めた認証方式です。

本機では、複数ネットワークへの接続を有効にした場合に、以下の二要素認証を使用できます。

- ICカード認証 + PINコード認証
- 生体認証 + PINコード認証

### 2.4.2 ICカード認証で二要素認証を行うための設定をする

ICカード認証で二要素認証を行うための設定は、Web Connectionの管理者モードの[ユーザー認証 / 部門管理] - [認証装置設定] - [ICカード認証]で行います。

設定	説明
[動作設定]	二要素認証を行うには、[ICカード認証 + PINコード認証]を選びます。
[PINコード入力桁数]	PINコードに必要な桁数を、2～8の範囲で指定します。

#### 参考

- ICカード認証使用時の二要素認証の設定は、操作パネルの[設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザー認証 / 部門管理] - [認証装置設定] - [認証方式] - [ICカード認証] - [動作設定]で行うこともできます。

### 2.4.3 LDAP-ICカード認証で二要素認証を行うための設定をする

LDAP-ICカード認証で二要素認証を行う場合は、以下の設定を行います。

- ✓ ICカードで二要素認証を行うための設定が必要です。詳しくは、2-8ページをごらんください。

1 Web Connectionの管理者モードの[ユーザー認証 / 部門管理] - [LDAP-ICカード認証設定] - [サーバー登録] - [編集]をクリックします。

2 [第1サーバー]の[編集]をクリックして、以下の設定をします。

設定	説明
[PINコード検索属性]	LDAPディレクトリでPINコードを格納する属性を指定します。(半角63文字以内)。 属性値は、半角英字で始める必要があります。

3 LDAPサーバーの第2サーバーを使う場合は、[第2サーバー]の[編集]をクリックして、手順2と同様の設定を行います。

#### 参考

- LDAP-ICカード認証使用時の二要素認証の設定は、操作パネルの[設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザー認証 / 部門管理] - [認証方式] - [LDAP-ICカード認証設定] - [第1サーバー登録]で行うこともできます。

### 2.4.4 生体認証で二要素認証を行うための設定をする

生体認証で二要素認証を行うための設定は、Web Connection の管理者モードの [ユーザー認証 / 部門管理] - [認証装置設定] - [生体認証] で行います。

設定	説明
[動作設定]	二要素認証を行うには、[1 対多認証 + PIN コード認証] を選びます。
[PIN コード入力桁数]	PIN コードに必要な桁数を、2 ~ 8 の範囲で指定します。

#### 参考

- 生体認証使用時の二要素認証の設定は、操作パネルの [設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザー認証 / 部門管理] - [認証装置設定] - [認証方式] - [生体認証] - [動作設定] で行うこともできます。

### 2.4.5 ユーザーの PIN コードを設定する

二要素認証で使用する、ユーザーの PIN コードを設定します。

PIN コードの設定は、Web Connection の管理者モードの [ユーザー認証 / 部門管理] - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] で行います。

設定	説明
[PIN コード] / [PIN コードの再入力]	二要素認証で使用する PIN コードを入力します。

#### 参考

- PIN コードの桁数は、[PIN コード入力桁数] の設定に従います。詳しくは、2-8 ページまたは 2-9 ページをごらんください。
- PIN コードの設定は、操作パネルの [設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザー認証 / 部門管理] - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] - [PIN コード] で行うこともできます。



## 2.5 ネットワークを選択してログインする

ユーザーがログインするときに、本機からアクセスするネットワークを選びます。

- 1 ネットワーク選択画面でネットワークを選びます。
- 2 ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン] をタップします。
  - パブリックユーザー（登録されていないユーザー）の使用を許可している場合は、[パブリックユーザー] をタップすると、ログインできます。
  - ログイン画面でネットワーク名のボタンをタップすると、ネットワーク選択画面に戻ります。

## 2.6 PIN コードを変更する

二要素認証を使用してログインしているユーザーのPIN コードを変更します。

PIN コードの変更は、操作パネルの [設定メニュー] - [ユーザー設定] - [PIN コード変更] で行います。



### 参考

- 新しいPIN コードの桁数は、変更前のPIN コードの桁数に従います。

---

# 3

## ユーザーズガイドの記載訂正／ 変更について

## 3 ユーザーズガイドの記載訂正／変更について

### 3.1 [操作パネルについて] での訂正

一部の機種、「タッチパネルの操作と主な画面の紹介」-「トップメニューについて」-「トップメニューのテーマを変更する（管理者向け）」の記載を、以下のとおり訂正いたします。

「参考」内の「表示サイズ」について

誤	正
元画像の縦横比を保持した状態で、以下のサイズに縮小して登録されます。 横幅 1024 ピクセル、縦幅 600 ピクセル	元画像の縦横比を保持した状態で、以下のサイズに縮小して登録されます。 横幅 800 ピクセル、縦幅 480 ピクセル

### 3.2 [プリント] での訂正

「プリンタードライバーを使わずに印刷する」-「コンピューターから直接印刷する（ダイレクトプリント）」-「ダイレクトプリントについて」および「ダイレクトプリントのしかた」の記載を、以下のとおり訂正いたします。

本機で印刷できるファイル形式について

誤	正
PDF(Ver.1.6)	PDF(Ver.1.5/1.6/1.7)

### 3.3 NFC 認証導入時の制約事項

（操作パネルの [設定メニュー] - [管理者設定] - [システム連携] - [モバイル連携設定] で [タッチ連携アプリ設定] が表示される機種のみ）

ユーザーズガイドを参考に、本機の操作パネルのモバイルタッチエリアを使って NFC 認証を行うための設定をするときは、以下の情報をあわせてご確認ください。

Android 端末に Mobile Print をインストールしていると、本機の [タッチ連携アプリ設定] で Mobile Print を選べないため、Mobile Print に本機を登録することはできません。

### 3.4 ライセンス文について

本機に含まれるソフトウェアコンポーネントのライセンス文を追加しました。

以下の Web サイトで確認できます。

<https://generic-products-bt.com/license/3742/>



A7PY-9592-00

Printed in China

2018. 6